

「言語の特質は、その言語共同体の文化や政治にどのように反映されるか」

講師：田中 克彦 氏（一橋大学名誉教授）

2018年10月20日（土）14:00～16:00

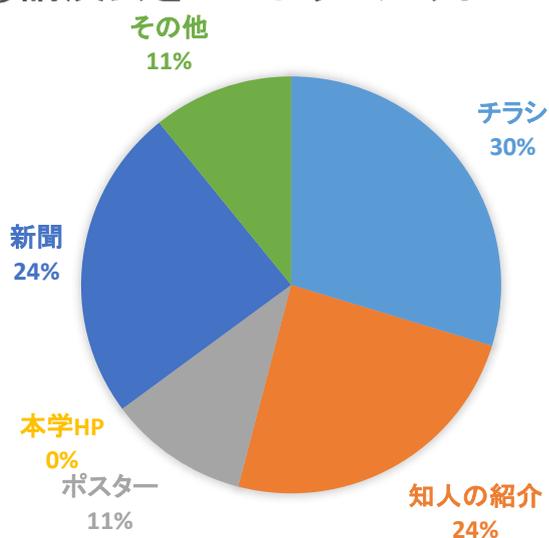
毎年行っている当研究室の公開講演会も6回目となり、今年も学内外からたくさんの方がご参加くださいました。

講師としてご来学いただいた田中先生の豊かな知識や見識から生まれる豊富な話題に、参加者の方々は興味深く聞き入っている様子でした。

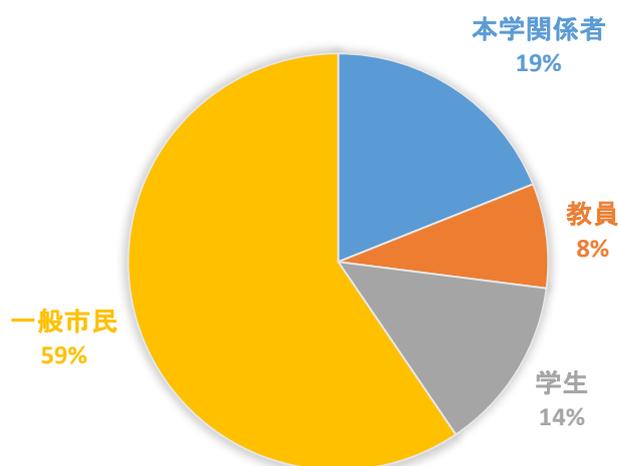
講演後のアンケートの集計結果と、寄せられた意見をご紹介します。



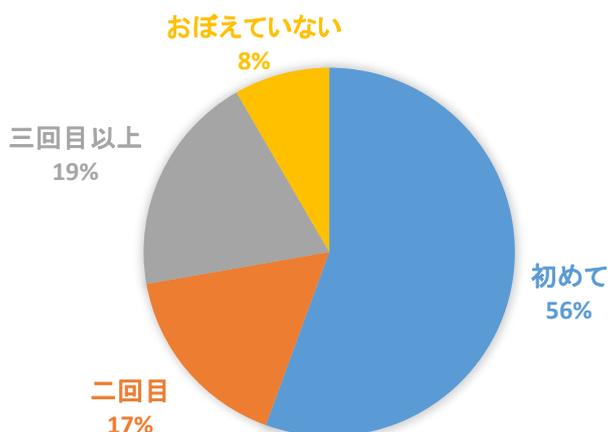
①講演会をどのように知りましたか



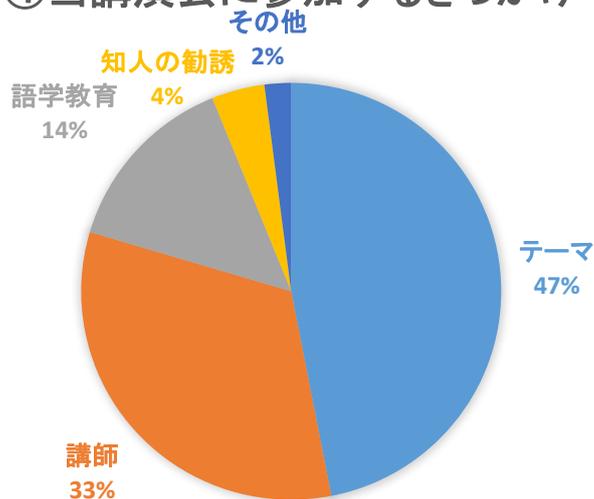
②ご職業



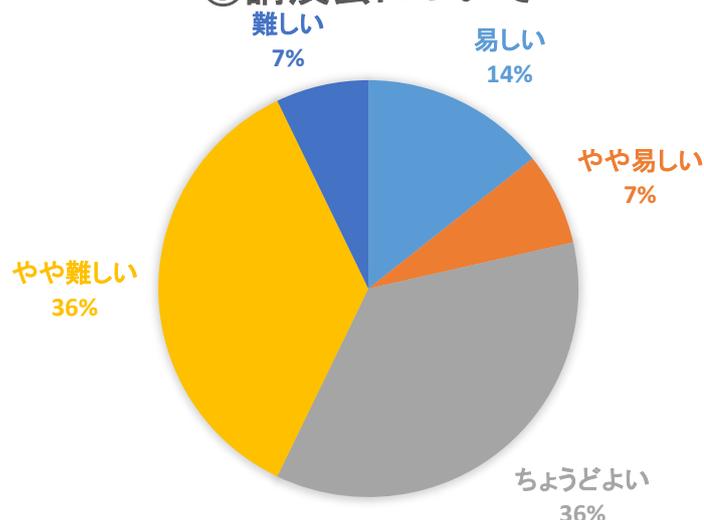
③当研究室の公開講演会に参加したことはありますか



④当講演会に参加するきっかけ



## ⑤ 講演会について



## ⑥ 今回の講演会で印象に残った点、不足な点

- ・先生、ありがとうございました。先生のお話を完全に理解できたとは思えないけれども、言語に関わって自分が殆ど考えていなかった面に言及していただいたので、拝聴できてほんとうによかったと思います。
- ・ドイツ語の言語形態に興味があり参加しました。母語が最もかけがえのないものであるという思想から純化運動に繋がるまでのドイツ語の変遷がとても印象的に思いました。
- ・タイトルの「特質」(何か?)と反映「される」(受け身)について、説明がほしかった。
- ・規範と構造。言語をそんな風に分けて考えたことがなかったため。
- ・チラシで拝見しましたように、特別な例から一般性の高いまとめで、興味深い。
- ・文化との関係に触れられ有益でした。ソシユール言語学についてももう少し話してほしかった。
- ・たくさんの知的な話に接することができました。興味深かった。ただもう少しまとまりがあったらよりよかったです。(先生の『クレオール』を読んだことがあります。)
- ・広くて深い見識に基づいた楽しいお話をありがとうございました。日本語を外国人に教えている者ですが、「日本語人」という言葉が印象に残りました。

等々、その他たくさんのご感想ありがとうございました！

愛知大学語学教育研究室は2013年度より毎年、公開講演会を行っております。  
来年度も予定しておりますので、ぜひ次回も足を運んでいただけましたら幸いです。

(名古屋語学教育研究室：楠本)